

基本理念の背景・設定理由について

	タイトル	本文	背景・設定理由	関連する序論	関連する分野
基本理念1	一人ひとりが自分らしく生き生きと輝けるまち	市民の活動の輪は、学校や地域をはじめ、産業、スポーツ、文化など様々な分野で広がりを見せており、市民の活躍がまちの発展につながっています。 年齢や障害の有無、国籍などに関わらず、それぞれのライフステージに応じた学び方や働き方を選択し、市民一人ひとりが自分らしく生き生きと輝けるまちを目指します。	健康寿命や平均寿命の伸びによる人生100年時代を見据えると、市民一人ひとりがそれぞれのライフステージにおいて活躍することができ、自らの人生に誇りと生きがいを実感できるよう、人づくりに焦点をあてたまちづくりがより一層求められている。 未来のまちや社会の担い手となる子どもたちを健やかに育む子育てや教育環境の整備をはじめ、年齢や障害の有無、国籍などに関わらず、市民一人ひとりの学ぶ意欲、働く意欲に応えるため、生涯学習環境の整備やボランティア、就労の支援などの取り組みが必要となる。	【特性】④堅調な人口増加、高い定住意向	子育て、教育、文化、スポーツ、市民生活、健康福祉 等
				【特性】⑥船橋に根差す文化・スポーツ	
				【社会】④先端技術の活用による新たな価値を創出する社会の実現	
				【社会】⑥持続可能なまちづくりへの取組	
				【発展】①増加する人口、まちを支える市民の力	
				【発展】②健康づくりや生きがい創出によるまちの活性化	
				【課題】①複雑多様化する地域課題への対応	
				【課題】③子どもを安心して産み育てられる環境の整備	
				【課題】④超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの構築	
				【課題】⑤持続可能な行財政運営に向けた取組	
基本理念2	活気と魅力にあふれ、進化し続けるまち	住む人や働く人、訪れる人など、人が集まるまちには活気が生まれ、その活気がさらに人を集める好循環を生み出します。 人が集まる魅力あるまちであり続けるため、これからも新たな可能性を引き出すまちづくりに挑戦し、活気と多彩な魅力にあふれる進化し続けるまちを目指します。	本市は都心から20km圏内に位置するとともに、成田・羽田両空港へ約50分でアクセスできる交通の要所として、堅調な人口増加や多彩な産業の集積により全国有数の都市へと成長してきた。 昭和30年代から50年代の人口急増期を経て、平成の時代には船橋駅南北駅前の再開発を進め、船橋の玄関口の様子は変貌を遂げたほか、アンデルセン公園の整備等により、市内外から多くの人を惹きつけている。 まちの新たな魅力を創出するためには、まちを常に進化させ、人を惹きつける活気と魅力を生み出し続けることが必要となる。	【特性】①地理的優位性	都市基盤整備、産業振興 等
				【特性】②充実した鉄道網を活かした生活利便性の高い都市構造	
				【特性】④堅調な人口増加、高い定住意向	
				【特性】⑤多彩な産業が発達	
				【社会】②広域道路ネットワークの整備	
				【社会】④先端技術の活用による新たな価値を創出する社会の実現	
				【社会】⑥持続可能なまちづくりへの取組	
				【発展】③さらなる産業発展の期待	
				【発展】④新たな魅力を創出するまちづくり	
				【課題】②より安全・安心に暮らせる都市基盤の整備	
基本理念3	住み慣れた地域で安心して暮らせるまち	安心できる暮らしは、市民の活躍やまちの発展には欠かせないまちづくりの土台です。 子育て支援や高齢者・障害者への支援、防災・防犯など様々な側面で多様な主体が支え合う心のかよった地域づくりを進め、市民が将来にわたって住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指します。	少子化や高齢化が進む中、安心して子どもを産み育てられる環境づくりや高齢者や障害者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる環境づくりが、より一層求められている。 また、自然災害リスクや事件事故等に対する不安が高まっている中、災害に対する備えがあり、犯罪による被害を受けることのない安全で安心なまちが望まれている。 「安心」は、まちづくりの土台であり、市民の活躍やまちの発展には欠かせない要素であることから、地域社会を取り巻く環境が大きく変化している中であっても、市民が将来にわたって安心して暮らせるまちづくりが必要となる。	【特性】④堅調な人口増加、高い定住意向	子育て、健康福祉、市民生活、防災・防犯 等
				【社会】①進む人口減少・少子高齢化	
				【社会】③自然災害のリスクの高まり	
				【社会】④先端技術の活用による新たな価値を創出する社会の実現	
				【社会】⑥持続可能なまちづくりへの取組	
				【発展】②健康づくりや生きがい創出によるまちの活性化	
				【課題】①複雑多様化する地域課題への対応	
				【課題】②より安全・安心に暮らせる都市基盤の整備	
				【課題】③子どもを安心して産み育てられる環境の整備	
				【課題】④超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの構築	
基本理念4	快適に暮らせる人と環境にやさしいまち	公共交通や都市機能がもたらす生活の利便性と自然の恵みがもたらす安らぎは、どちらも市民の快適な暮らしに欠かせないものです。 恵み豊かな自然環境を次世代に引き継ぐとともに、市民の暮らしやすさを追求するまちづくりを進め、都市と自然が調和した人と環境にやさしいまちを目指します。	本市は鉄道網やバス路線が充実しているとともに、市民の日常の暮らしを支える医療、福祉、商業施設等が身近に配置されるなど、交通や生活の利便性に優れたまちである。 その一方で、都心近郊にありながら海や川、緑地など多様な自然環境が残されており、都市と自然が調和した暮らしやすいまちとして市民からも高い評価を受けている。 都市としての利便性と自然がもたらす安らぎの両面を享受できる豊かで快適な暮らしを次世代へ引き継いでいくために、誰もが生活しやすい都市機能の維持や都市基盤の整備に努めるとともに、自然環境の保全や環境負荷の少ないまちづくりが必要となる。	【特性】②充実した鉄道網を活かした生活利便性の高い都市構造	都市基盤整備、環境、産業振興 等
				【特性】③都心近郊にありながら、多様な自然環境が残る	
				【社会】④先端技術の活用による新たな価値を創出する社会の実現	
				【社会】⑤低炭素・循環型社会に向けた取組	
				【社会】⑥持続可能なまちづくりへの取組	
				【課題】①複雑多様化する地域課題への対応	
				【課題】②より安全・安心に暮らせる都市基盤の整備	
				【課題】⑤持続可能な行財政運営に向けた取組	